

京成本線荒川橋梁架替事業

『環境影響評価書案』への意見書を提出

5月30日に旧小谷野小学校で、国土交通省による京成本線荒川橋梁架替事業『環境影響評価書案』の説明会が開催されました。当日は約90名の参加があり、地域の関心の高さが伺えました。

しかし、説明された評価内容には、以前、当協議会や区長、都知事が提出した意見が全く反映されなかったこと、多々疑問点が見られることから、堀切地区まちづくり推進協議会ではその後4回の会合を経て、『環境影響評価書案』に対する11項目の意見をまとめた意見書を改めて作成し、7月9日に東京都へ提出しました。（意見書の内容は次ページをご覧ください。）



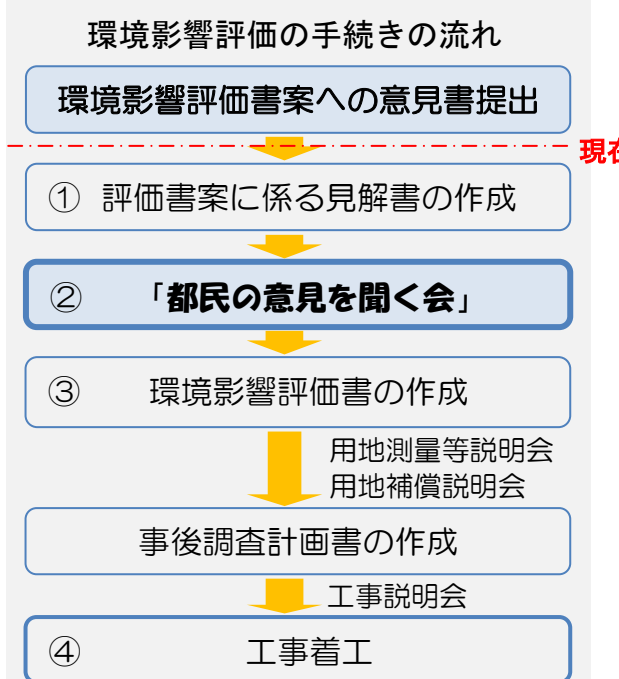
第7回全体会（6/29）での協議の様子

「都民の意見を聞く会」への参加も予定しています！

今後の環境影響評価の手続きは、まず、①事業者が今回の意見書に対する見解書を作成し、②その見解書に対する「都民の意見を聞く会」を東京都が開催し、そこでの意見を踏まえて、③最終的な環境影響評価書が作成されて、④事業着手という流れになります。（右図参照）

この秋頃開催される予定である「都民の意見を聞く会」は環境影響評価に対して住民が意見を言う最後の機会です。堀切地区まちづくり推進協議会では、その「都民の意見を聞く会」にも公述人を立て、地域を代表して意見を述べる予定です。

環境影響評価についてご意見をお持ちのみなさんは、これが最後のチャンスです！是非、当協議会にご意見をお聞かせください！



環境影響評価とは・・・開発事業の内容を決めるに当たって、それが環境にどのような影響を及ぼすかについて、あらかじめ事業者自らが調査、予測、評価を行い、その結果を公表して一般の方々、地方公共団体などから意見を聴き、それらを踏まえて環境の保全の観点からよりよい事業計画を作り上げていこうという制度で、東京都が窓口となって手続きが行われます。

■「環境影響評価書案」に対する意見の概要(平成24年7月9日提出)

- 協議会や区長の意見書・都の審査意見書を反映しなかった理由を明記すべき
- 擁壁区間を残す場合と全面的に高架化した場合の違いを明らかにすべき
小谷野第4架道橋から駅前まで擁壁区間を残す計画でありながら、評価結果は全面高架化を想定した内容になっています。擁壁を残すことの影響を明確にすべきです。
- 騒音・振動評価の前提条件が不適切
騒音・振動の予測には、スカイライナーなどの通過列車の高速化や、本数の増加、車両数の増加など、騒音・振動を増加させる要因が加味されていません。こうした、将来必ず起きるであろう変化も考慮して前提条件を設定すべきです。
- 鉄道騒音が、5階以上で現況を上回ることに対する対策を明記すべき
- 対策後の予想値や改善できなかった場合の対応についても明記すべき
- 都道314号線に架かるガード部分における騒音・振動も評価すべき
都道314号線に架かる駅前のガードは工事対象区間ではありませんが、地域の騒音を代表する地点です。国や都の指針では測定点を工事対象区間に限定してはいないので、このガード部分の騒音・振動への影響についても改めて評価すべきです。
- 長期間、大きな騒音・振動に晒されることの影響も評価すべき
- 日影になる部分は連続立体交差事業と同様に道路として整備すべき
同じ影響を受けるのに、事業が違うという理由で対応が異なるのは納得できません。鉄道の日影になる部分は、地域の生活道路の不足を補うためにも道路として整備すべきです。
- 擁壁部分および都道沿いの高架の景観評価を行うべき
- 老朽化した構造物（都道沿いの高架～駅舎）の耐久性も評価すべき
説明会では、説明者側から「駅舎は老朽化している」との発言がありました。現在の老朽化した構造物で事業後も耐えられるのか、大地震時に落下・崩落しないかも評価すべきです。
11. 実際の生活ニーズを踏まえて通信電波の障害についても評価すべき

今後、国や京成電鉄との直接交渉も進めていきます！

堀切地区まちづくり推進協議会は、「京成本線荒川橋梁架替事業」が「堀切地区まちづくり構想」を踏まえ、地域のまちづくり活動と連動する内容で実施されることを願っています。具体的には、次のような事項の実現に向けて相互に協力していきたいと考えています。

- ①京成本線の全面高架化
- ②鉄道高架沿いへの道路整備
- ③駅舎の再整備
- ④鉄道跡地や高架下の有効活用

その実現に向けて、今後は環境影響評価とは別に、事業主体である国や京成電鉄へも直接交渉を行って、堀切地区のまちづくりへの協力を要請していきます。みなさんも、各町会から選出されている協議会メンバー等を通じて、是非、ご意見をお寄せください！

(1) 防災道路ネットワークの整備

① 主要な防災道路の整備

- 拡幅を検討する路線（路線①～⑦）
- 新設を検討する路線（路線A）
- 幹線道路との接続を検討する路線（①～②）
- 緑道の新設を検討する路線（緑道a）
- クランク等の解消・交差点の改善
- 沿道の耐震化・不燃化

② 地区外の道路の道路との整合性を図る

- 幹線道路

(2) 細街路・路地の整備

① 共同建替え等による細街路の通行確保

- 共同建替えを検討すべき区域
- 商店街の一体的整備（路線⑤）

② 避難・救助経路の確保

- 通行を妨げるポールや電柱等の障害物の撤去

(3) オープンスペースの活用

① 公共、民間のオープンスペースを有効活用する

- 旧小谷野小学校の有効活用

② 既存の公園・広場の防災機能の強化

- 公園・広場

(4) 橋梁架替事業等との連携

① 架道橋の桁高を高くし、緊急車両が通れるようにする

- 橋梁架替事業による架道橋の改善

② 鉄道跡地の防災公園化

- 鉄道跡地の防災公園化（橋梁①）

③ 橋梁架替と併せた河川の取水・排水システムづくり

- 河川の取水・排水システム（橋梁②）

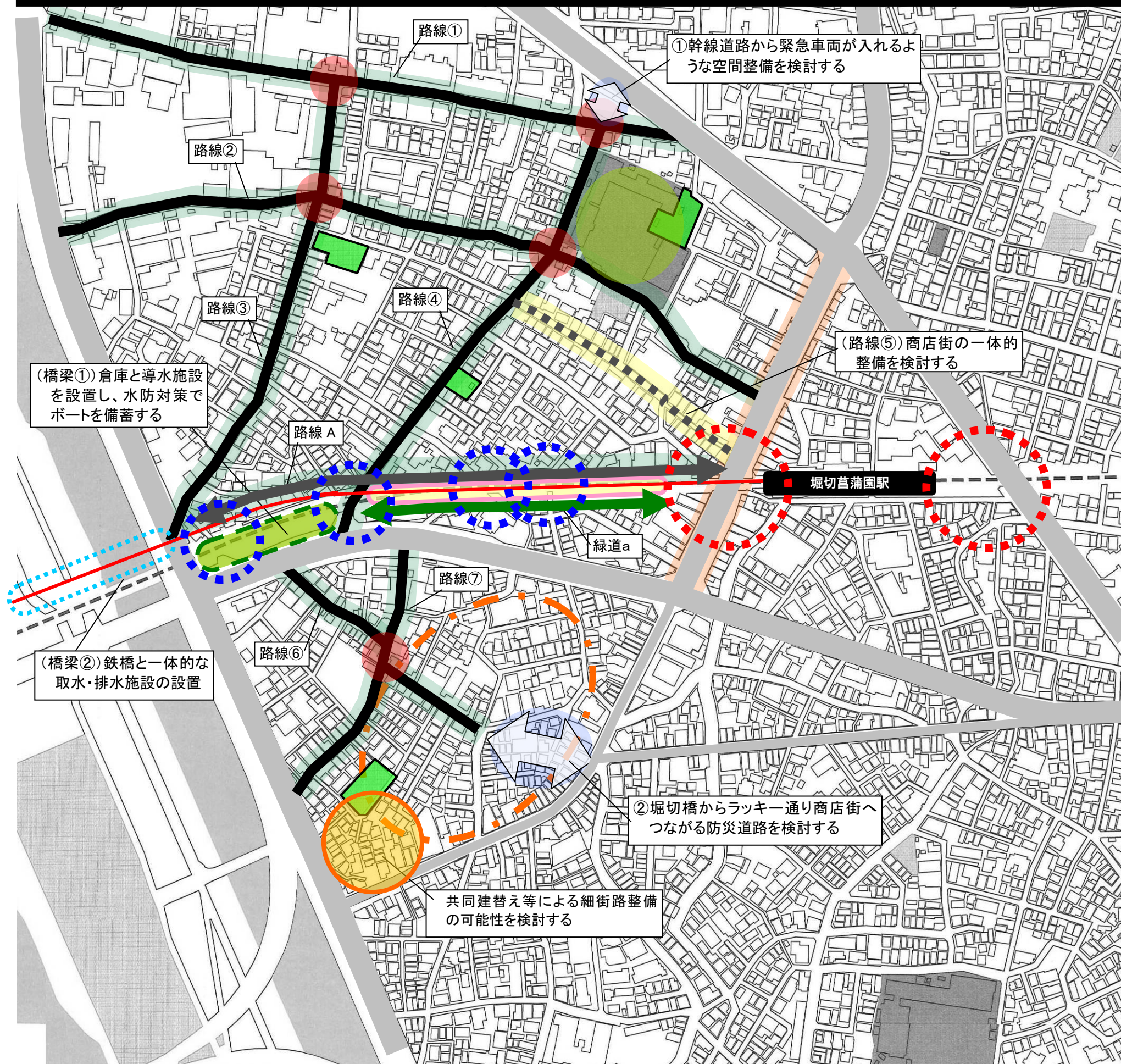
④ 駅周辺の整備につなげる

- 高架下の有効活用
- 駅前の利便性の向上（駐輪場、改札の設置等）
- 電線類地中化による歩道空間の確保

(5) その他の取り組み

- ① できることから確実に取り組む
- ② 防災道路ネットワークを活かした地域の防災活動の充実

堀切四丁目地区まちづくりの整備構想(素案)

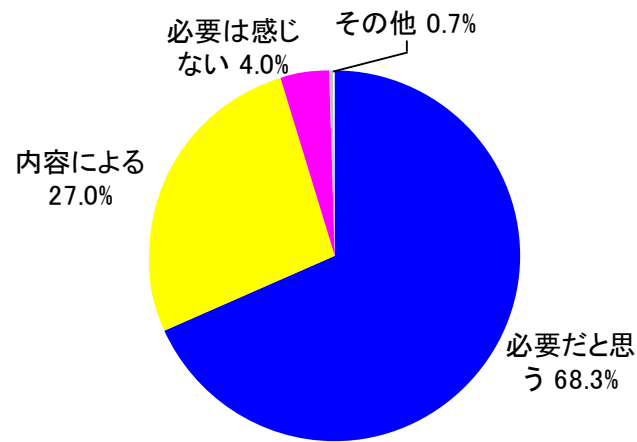


堀切四丁目のまちづくりに関する アンケート調査結果の概要

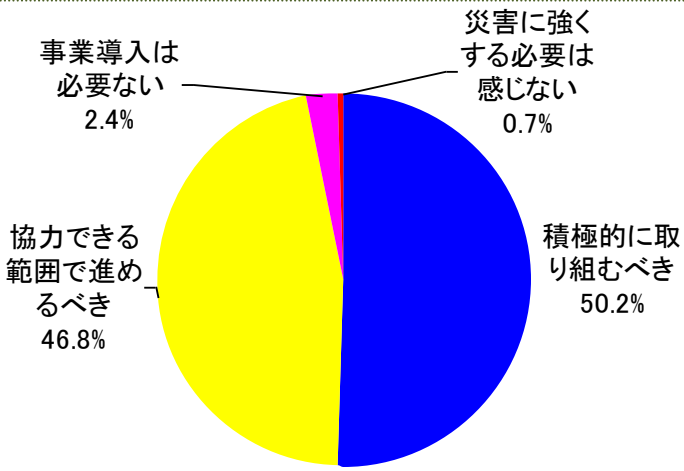
今年3月に、堀切四丁目にお住まいの方を対象に葛飾区が実施した「堀切四丁目のまちづくりに関するアンケート調査」の結果概要をご紹介します。

- 回収率：配布数1833通、回収数302通で、回収率は16.5%でした。
- まちづくりの必要性に対する認識は高く、「密集事業」の導入や「地区計画（ルール）」の策定に対する意向は「協力できる範囲で」を含めると9割を超えています。
- 特に、道路や公園（防災拠点施設）の計画・整備意向が高くなっています。
- 防災に関する情報提供や、防災以外の視点からのまちづくりも求められています。

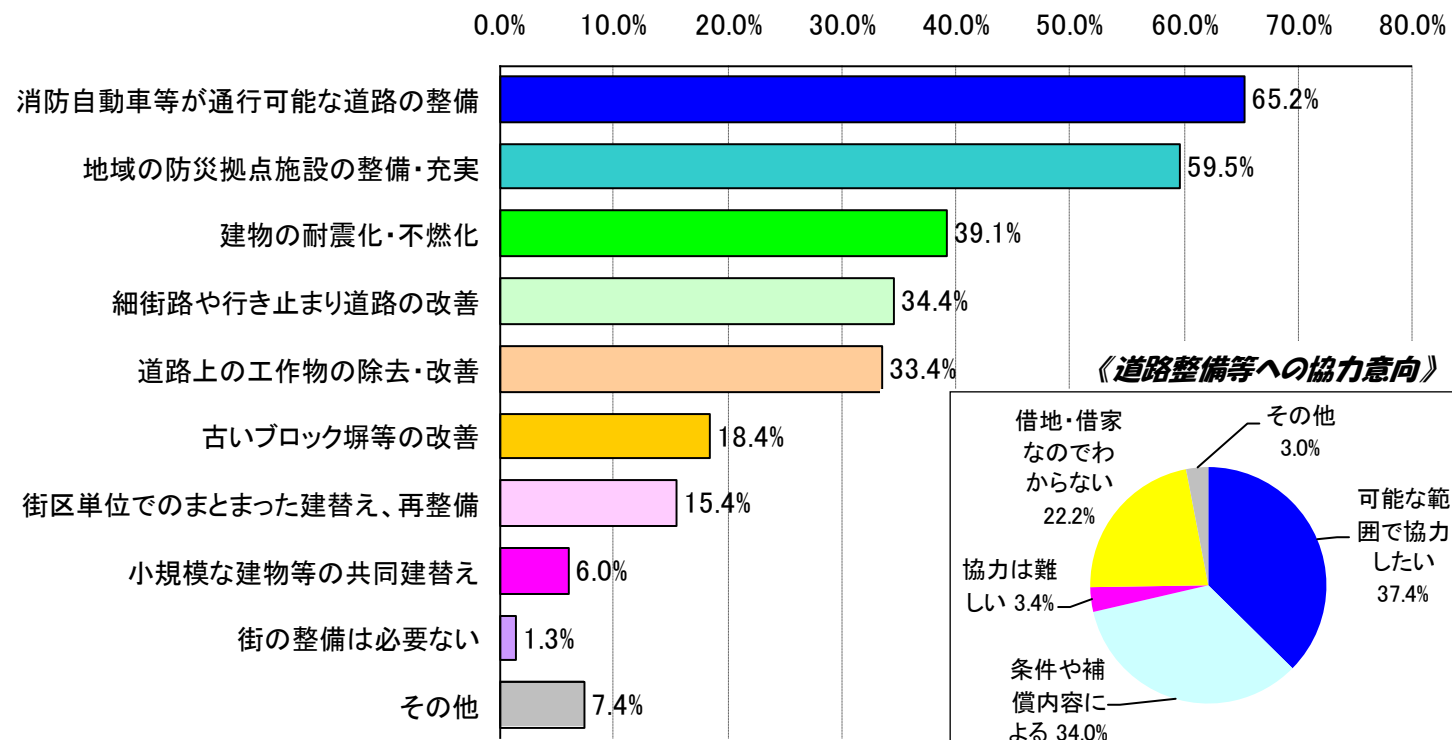
●まちづくりが必要との意見は約7割でした。



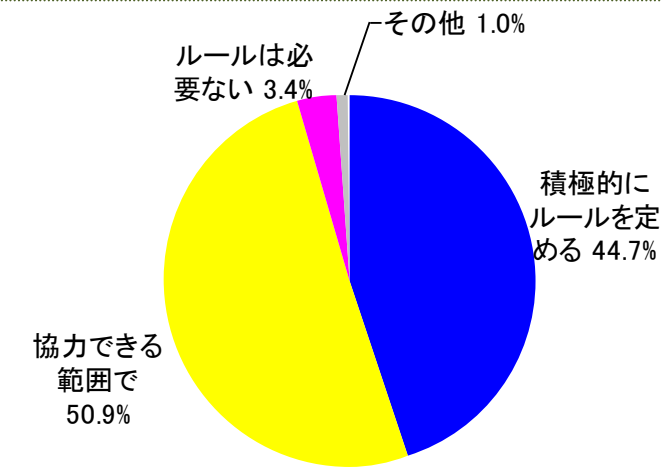
●「密集事業」導入も概ね賛同されています。



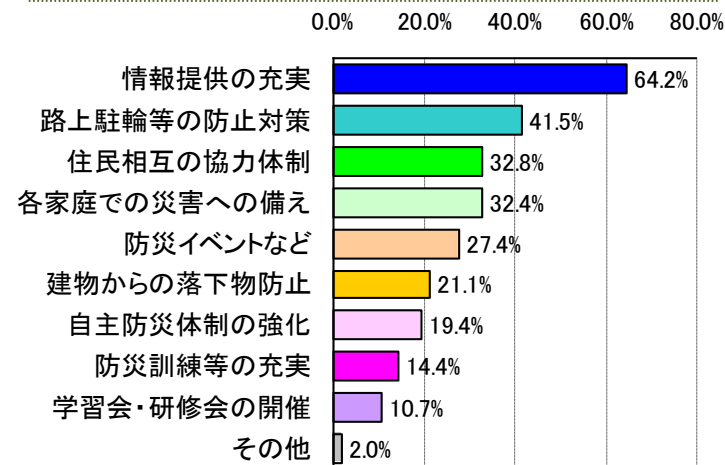
●道路や防災拠点施設（公園など）整備の意向が高く、整備への協力意向も7割を超えています。



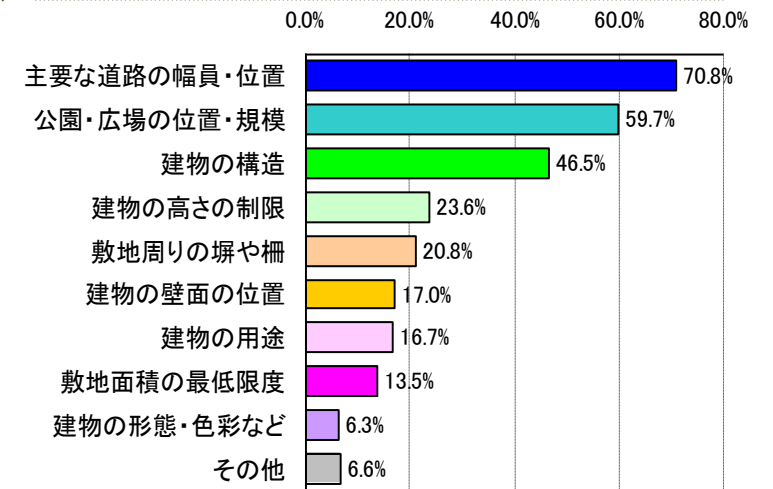
●「地区計画」策定も概ね賛同されています。



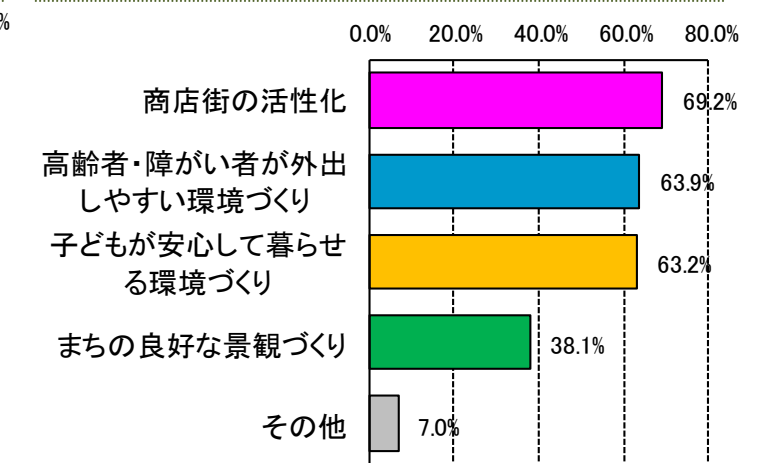
●地域に必要な防災活動は「情報提供の充実」。



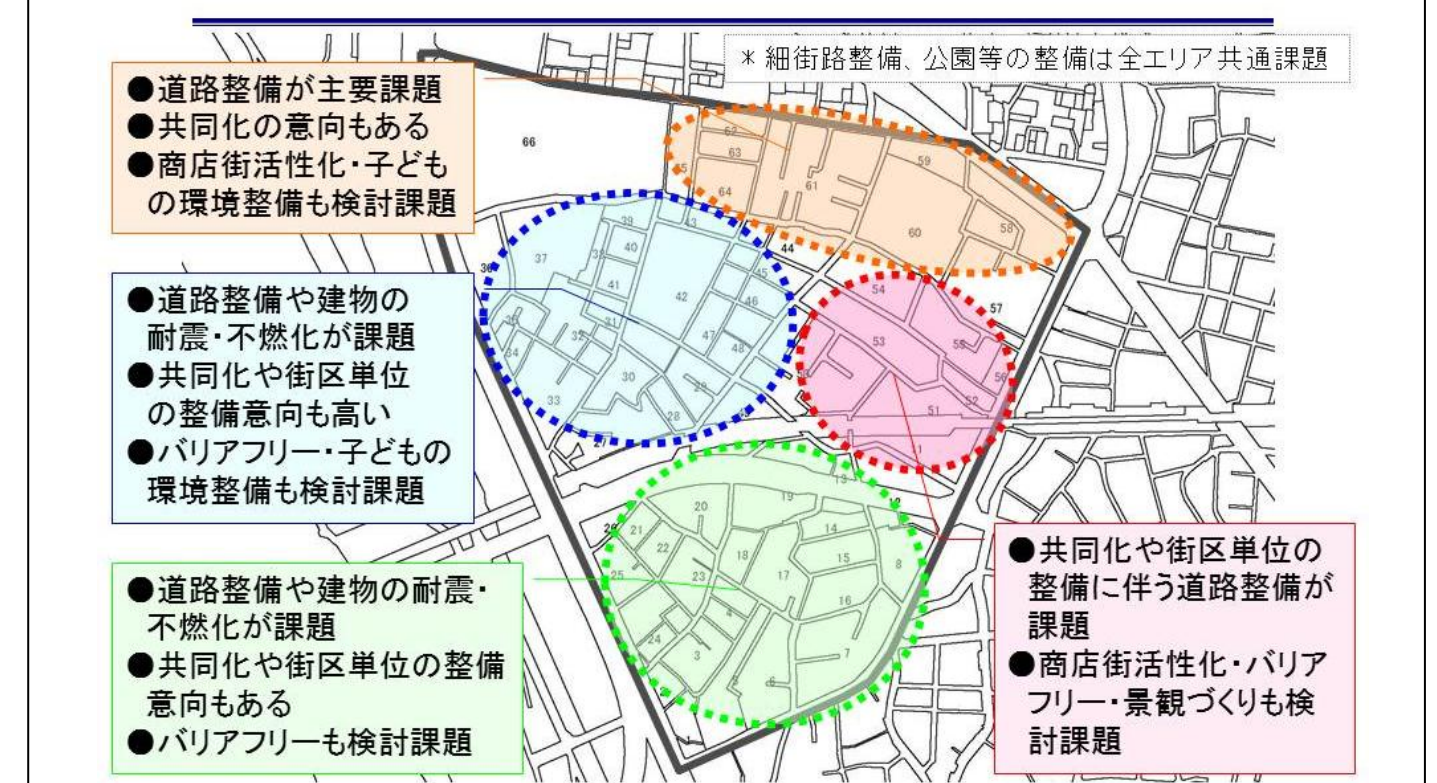
●ルールの重点項目はやはり道路・公園でした。



●様々なテーマからの検討も求められています。



《参考》エリア別の意向の傾向



『堀切四丁目地区のまちづくり』の具体的な検討を開始！

■「堀切四丁目地区まちづくりの整備構想（素案）」とアンケート結果がまとまりました。

「京成本線荒川橋梁架替事業」と合わせた堀切四丁目地区のまちづくりの実現に向け、昨年度連続開催した（仮称）堀切四丁目地区のまちづくりを考える会での意見を踏まえた『堀切四丁目地区まちづくりの整備構想（素案）』がまとまりました。また、この春に葛飾区が実施したアンケート調査の集計結果もまとまりました。7月27日にその報告会を開催しましたが、あいにく地域の様々な行事と重なったため参加者が少なかったため、改めてその報告内容をご紹介します！

← **整備構想(素案)とアンケート結果は見開きのページをご覧ください！**

■今後、具体的な検討を進めていきます！

今後、これらの成果を基に、堀切四丁目にお住いのみなさんとの意見交換を重ねながら、まちづくりの具体的な検討を進めていく予定です。

防災まちづくり検討部会

堀切二丁目周辺地区の防災まちづくり整備構想を作成中

■①防災道路、②建物、③公園・広場、それぞれの整備方針（案）を作成しました。

防災部会では、堀切二丁目周辺地区への密集事業と地区計画（建替えルール）の導入を目指して、①防災道路、②建物、③公園・広場、それぞれの整備方針（案）を作成しました。大きな地図を広げた検討のほか、問題点や改善点をまち歩きで実際の現場を見て確認しながら検討を進めました。

■10月を目処に、整備構想をまとめます

各方針内容の整合・調整を図り、「堀切二丁目周辺地区防災まちづくり整備構想」をまとめる予定です。



まち歩き後の話し合いの様子

【建物の整備方針(案)の内容(抜粋)】

- 防災道路沿道の重点的耐震化・不燃化を進める
- 建替え手法などを学ぶ地権者向け勉強会を企画する
- 耐震・不燃化建替えを推進するルール（地区計画制度等）を検討する
- 防災対策を工夫して、魅力的な木造建物の保全を図る
- 老朽空き家の防災・防犯対策を検討する など



まち歩きの成果をまとめたマップ

【公園・広場の整備方針(案)の内容(抜粋)】

- 公園・広場が、特に不足する区域における重点確保を検討する
- 9つの視点で公園・広場の改善・整備を検討する。(①抜け道確保、②火災の影響を受けにくく、③倒壊するものがないように、④必要なスペース確保、⑤バリアフリー、⑥情報提供の場づくり、⑦防災設備確保、⑧緊急車両が進入できるように、⑨まちの防災環境向上につなげる)
- 駐車場、空き地、社寺等の災害時活用へ、できる限りの協力を呼びかける など



2012 第一弾企画「ほりきりん in 菖蒲まつり」を開催！

推進協議会活動PR・ほりきりん活用グッズ展示

ほりきりんが活用されたグッズ等を集めて展示しました。また推進協議会の活動紹介のパネルを展示しました。



展示コーナー グッズが一同に集まりました

事前告知チラシの作成・配布

多くの地元の方々にイベントに来ていただくため、堀切界隈のお店にご協力いただき、イベント前にチラシを設置しました。裏面は堀切のマップ付です。



ほりきりんに関するアンケート

ほりきりんは女の子？男の子？好きな食べ物は？などの「プロフィール」と、ほりきりんのこんなグッズがあるといいな、など「ほりきりんの活用アイデア」を募集しました。



アイデアを書いたポストイットが多く集まりました

ほりきりん記念撮影・写真プレゼント

大きなほりきりんと一緒に記念撮影できるコーナーを作りました。撮影した方には、かわいいフレーム入りの写真にプリントしてプレゼントしました。



撮影コーナー プレゼントした記念写真

第二弾企画も検討中！

堀切が元気になる企画を検討中です。活性化部会の活動にぜひご注目ください。→



防災訓練 in ウェルピアかつしか にご参加ください！

災害が起こったら、あなたどうしますか？ 何ができますか？
当日は、そんなことが色々学べる、様々な訓練・体験コーナーがあります。
家族、ご近所と協力して災害を乗り越える準備を一緒にしませんか？

【日時】平成24年10月28日(日) 午前9時～12時
【会場】ウェルピアかつしか 【主催】堀切自治町会連合会
**【内容(予定)】災害ビデオ上映、避難所生活の模擬体験、倒壊家屋からの救出訓練
初期消火訓練、応急救護(AED)訓練、通報体験、はしご車体験 ほか**
【問い合わせ】各町会の防災部長

※まちの旬な情報やまちづくり情報等をお伝えしていきます

堀切地区のまちづくりについて、区ホームページでご紹介しています。
トップページ→くらしのガイド→(まちづくり)→地域街づくり→橋梁架け替えをきっかけとしたまちづくり→堀切地区のまちづくり

～堀切地区のまちづくりに関する問い合わせは、下記にお願い致します～



堀切地区まちづくり推進協議会 事務局

葛飾区 都市整備部 街づくり推進課 (半田、石田)
代表 03-3695-1111 (内線 2508)
直通 03-5654-8391